

＜北区内の水稻を調査しました＞

### 1 病虫害について

**カスミカメ(斑点米カメムシの一種)の幼虫が神戸北全地域で急激に増加しています。**  
今後、個体数のさらなる増加と成虫による斑点米被害が懸念されます。防除薬剤を適期に散布して被害を最小限に抑えましょう。

病虫害	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
葉いもち病	無	少	ほとんど見られません	斑点米カメムシに対し、薬剤の適期散布を心がけましょう。
穂いもち病	無	少	ほとんど見られません	
内えい褐変病	中	並	一部地域で多く発生しています	
紋枯れ病	少	並	一部地域で発生しています	
セジロウンカ	少	並	若干見られる程度です	
ヒメトビウンカ	少	並	若干見られる程度です	
ツマグロヨコバイ	中	並	一部地域で多く発生しています	
<b>斑点米カメムシ</b>	<b>多</b>	<b>多</b>	<b>全地域で幼虫が多く見られています</b>	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚(中以上で要防除)

### 2 生育状況について

品種名	草丈 茎数	出穂	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ ヒノヒカリ 山田錦	草丈 やや低い  茎数 やや少	コシ・キヌ 早い  ヒノ・山田 やや早い	コシ・キヌ：登熟期間中、高温による乳白米等の発生が懸念されます。水の出し入れを小まめに行い、地温を下げてください。 ヒノ・山田錦：斑点米カメムシの被害が懸念されています。防除薬剤の散布を実施してください。出穂後は地温を下げるため、コシ・キヌ同様に小まめな水管理を心がけてください。

### 3 今後の生育について【カメムシ対策と高温対策を】

8月上旬まで圃場内での害虫発生はほぼ見られませんでした。今回の調査で斑点米カメムシの幼虫が広範囲で多発していることが確認されました。幼虫が成虫になる頃にはヒノヒカリや山田錦が出穂・登熟の時期と重なり、斑点米被害が懸念されます。スタークル粒剤(又は豆つぶ)等を出穂後に散布し、被害を抑えるよう努めましょう。

しばらくは高温が続くと思われるので、引き続き水の小まめな出し入れによって地温を下げることも忘れずに実施しましょう。詳細については最寄りのJA兵庫六甲支店営農窓口又は神戸北営農総合センターまでお問い合わせください。

今年度の定期的な病虫害発生予察は今回で終了です。今後の気象条件で重要病虫害の発生が予想される場合は、臨時で予察調査・情報提供を行います。

\*お問合せ先\* J A兵庫六甲 神戸北営農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

### 1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
葉いもち病	無	少	ほとんど見られません	緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
穂いもち病	無	少	ほとんど見られません	
縞葉枯病	無	少	ほとんど見られません	
紋枯れ病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	無	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	成虫が若干みられる程度です。	
ツマグロヨコバイ	少	並	成虫が若干みられる程度です。	
斑点米カメムシ	少	並	一部地域で発生しています。	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

### 2 生育状況について

品種名	草丈	莖数	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ ヒノヒカリ 山田錦	やや低い ～並	やや少 ～並	コシ・キヌ：登熟期間中、高温により乳白米等の発生が懸念されています。 <u>水の出し入れを小まめに行い、地温を下げてください。</u>  ヒノ・山田錦：穂肥を終えて間断灌水を続けましょう。高温乾燥による干上がりに気を付けてください。

### 3 今後の生育について【引き続き高温に要注意！】

7月に引き続き8月も連日の高温によって出穂後も水田の地温が下がらず、乳白米等の発生や粒張りの悪化が起きやすい状況です。特にキヌヒカリへの悪影響が懸念されています。可能であれば夕方に水を入れ替え、地温を下げるよう心がけてください。

ヒノヒカリや山田錦は幼穂形成期に入りました。土表面を乾燥させることなく、間断灌水により健全な穂の生長を促してください。

山田錦に関しては多くの圃場で肥料切れの兆候が見られます。今後は各地域に設置された見本圃場等を参考にして出穂10日前の穂肥を施しましょう。詳細については最寄りのJA兵庫六甲支店営農窓口又は神戸北営農総合センターまでお問い合わせください。

次回の調査予定日は、平成30年8月21日（火）です。

\*お問合せ先\* JA兵庫六甲 神戸北営農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

### 1 病虫害について

現状、問題となるレベルでの病虫害発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病虫害	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	少	並	一部地域で発生しています。	緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	無	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	成虫が若干みられる程度です。	
ツマグロヨコバイ	少	並	成虫が若干みられる程度です。	
フタオビコヤガ	少	並	一部地域で発生しています。	
斑点米カメムシ	少	並	一部地域で発生しています。	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

### 2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ ヒノヒカリ 山田錦	並	並	コシ・キヌ：出穂後も高温状態が長く続くと予想され、乳白米等の発生が懸念されています。可能であれば、水の出し入れを小まめに行い、地温を下げてください。  ヒノ・山田錦：今後、山田錦は幼穂形成期に入ります。中干しを終え、出穂期まで間断灌水を実施しましょう。

### 3 今後の生育について【高温に要注意！】

7月上旬の長雨以降、極端な高温乾燥状態が続いており、水稻への影響も懸念されています。出穂期以降に夜温が下がらない状態が続くと、乳白米等が発生しやすく粒張りが悪くなり、等級落ちの原因にもなります。特にコシヒカリやキヌヒカリは注意が必要です。水田の水を定期的に入れ替え、地温を下げるよう心がけてください。

一方、ヒノヒカリや山田錦は中干しを終える時期となっています。強い乾燥により、地表面に大きなヒビがある圃場も見受けられます。

今後、乾燥状態が続けば幼穂形成にも悪影響をもたらします。早急に水を入れ、出穂まで乾燥させないように間断灌水を心がけてください。

次回の調査予定日は、平成30年8月7日（火）です。

\*お問合せ先\* J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

### 1 病虫害について

現状、問題となるレベルでの病虫害発生は確認されておられません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病虫害	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	無	並	ほとんど見られません	緊急の対策は必要ありません。ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	無	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	成虫が若干みられる程度です	
ツマグロヨコバイ	少	並	成虫が若干みられる程度です。	
イネツトムシ	無	並	ほとんど見られません	
斑点米カメムシ	無	並	ほとんど見られません	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

### 2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ ヒノヒカリ 山田錦	並～ やや長い	並	コシ・キヌ：7月上旬以降は幼穂形成期に入ります。中干しを終え、間断灌水等を心がけましょう。 山田錦：温度上昇に伴い、急激に分げつがすすみ、茎数が過剰となる可能性があります。中干しが遅れている圃場につきましては早急に実施してください。

### 3 今後の生育について

7月上旬の長期にわたる悪天候により、いもち病の発生が懸念されておりましたが、一部の局所的な発生を除き、発生はほとんど見られていません。今後天候の回復と気温の上昇に伴い、いもち病の発生は例年並みと予想されます。

一方、長雨による日照不足により、一部の地域でやや徒長気味に生長しているものが見受けられます。収穫の遅い品種については、中干しを適期に実施するなどして茎数を制限しつつ、足腰の強い稲株を作るよう心がけましょう。

次回の調査予定日は、平成30年7月20日（金）です。

\*お問合せ先\* J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817

<コシヒカリ・キヌヒカリについて北区内を調査しました>

### 1 病虫害について

現状、問題となるレベルでの病虫害発生は確認されておられません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病虫害	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	無	並	ほとんど見られません	緊急の対策は必要ありません。ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	無	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	ほとんど見られません。	
ツマグロヨコバイ	無	並	成虫が若干みられる程度です。	
ニカメイガ	無	並	ほとんど見られません	
イネミズゾウムシ	少	並	一部地域で成虫を確認しました。	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

### 2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ	並	並	全体的に草丈はやや低めで茎数は平年並みで適正に推移しています。 一部地域で、ガスの湧くほ場で一時的な生育停滞が見られます。苗の生育に勢いがみられないほ場では一度水を落として発根を促しましょう。

### 3 今後の生育について

気象庁の長期予報では、7月の気温は例年より気温が高くなる可能性があるとして発表されています。気温が上昇すると、分けつが急激にすすんで茎数が増加し、無効分けつが増えて粒張りの悪い米ができてしまいます。

栽培暦などを参考に、それぞれの品種・生育・圃場条件に合わせて適期に中干しをおこない、茎数を制限するよう心掛けてください。

次回の調査予定日は、平成30年7月10日（火）です。

\*お問合せ先\* J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817